患者番号	
患者氏名	

核医学(RI)検査の正当化に関する同意書

～放射線の影響について～

あなたの病状を知るため，核医学（RI）検査を行うことになりました。
核医学検査は放射性医薬品を体内に投与し，目的の臓器や組織に集積したところを専用カメラで撮像します。得られた情報を解析・画像化して診断します。
今回の核医学検査は「放射線被ばくを伴いますが，検査を行うことで病気の状態を知ることの方が有益である」と，医師が判断し，行うものです。（医療被ばくの正当化といいます。）

「放射線が心配で検査を受けなかった為に，あなたの症状が良くならない」ということは，最も避けなければなりません。検査について心配な時は，医師とよく相談し，納得したうえで検査を受けてください。

当院では被ばく低減を図るため，撮影条件や撮影内容等の見直しを適宜行い，日常点検や業者による定期点検を実施することで，放射線の管理を適正に行っていますので，安心して検査をお受け下さい。（行為の最適化といいます。）

◎放射線が体に及ぼす影響について
人の健康への影響が確認されている被ばく線量は，100ミリシーベルト（mSv）以上と考えられ，それ未満であれば，放射線検査を受けた人も受けなかった人も，発がん率や遺伝的な影響の差はないと言われています。

◎核医学検査で受ける放射線の量について
核医学検査での被ばく線量は0．2～8．0mSv程度です。使用する放射性医薬品の種類や量で変化します。（参考：胸部レントゲン0.05mSv）
なお，お子様の場合は，体格を考慮し，大人よりも少ない量の放射線医薬品を投与することで被ばく低減に努めます。

説明日　　年　　月　　日　　説明医師＿＿＿＿＿＿＿＿

放射線影響について説明を受け，診断のための必要性と危険性を考慮した上で核医学検査を受けることに同意します。

年　　月　　日　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

家族・代理人（続柄　　）＿＿＿＿＿＿＿＿

県民健康プラザ鹿屋医療センター